

【施策評価調査】

施策名	5-2-2	地域リーダーの育成		117	次代を担う青少年を健全に育成することは、大人の責務です。育成には、家庭教育、学校教育、社会教育等が、その代表的なものとしてあげられますが、家庭、学校、職場、地域が一体となって、社会貢献に強い意欲を持ち、思いやりの心と生きる力を備えたたくましい青少年を育成すると同時に、次代の牽引役(リーダー)としての能力を養うことも肝要です。 物事に主体的に取り組む姿勢を身につけ、思考の柔軟性、感受性、幅広い人間性を磨き、豊かな人間性を培った子どもたちの中から、特に資質のある子どもたちをリーダーとして育成します。
		高根沢町地域経営計画2006 該当ページ			
担当部課	教育部 生涯学習課	担当 リーダー	社会教育担当 横塚恵子		
環境変化	近年、青少年を取り巻く環境が大きく変化し、家庭教育力、地域教育力が低下していると言われている。				研修事業を通じて地域リーダーを育てるとともに、地域リーダーが小学生ジュニアリーダーや次世代青年リーダーを育成していく仕組みを整えます。さらに、中高生のリーダーズクラブを各中学校区に設立します。(「高根沢町地域経営計画2006」からの抜粋)

指標

施策の評価指標	基準値	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
指標：巡回講座年間開催件数(回)	平成16年度	計画	3回	6回	9回	12回	24回
		実績	3回	3回	8回		
指標：中高生のリーダーズクラブ設立数(箇所)	平成16年度	計画	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	2箇所
		実績	1箇所	1箇所	1箇所		
指標：		計画					
		実績					
指標：		計画					
		実績					
指標に関する特記事項							

施策に係る事業費(傘下事務事業費計)の推移	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
	当初	897,000	902,000	940,000	926,000	
	決算	753,688	749,206	718,273		

事務事業事前評価 22年度の組立て

施策傘下事務事業	事業費	活動指標(アウトプット)	事業の実施によって、施策達成にどう貢献しますか？(アウトカム)	今後の方向性(総合評価)	継続
ジュニアリーダー育成事業費	H21 現計 70,000 H22 計画 74,000	参加人数 350人	地域リーダーや中高生のリーダーが企画することで、よりリーダー意識を高めることができます。また地域リーダーと中高生のリーダーとともに小学生を参加させることで、次世代に引き継ぐジュニアリーダーづくりを進めることができます。青少年対象自然・体験活動支援事業において、地域人材やジュニアリーダー、成人式実行委員が世代間交流をすることで、リーダーとしての自覚と意欲を育みます。	今後の方向性(総合評価)	継続
成人式典費	H21 現計 856,000 H22 計画 917,600	成人式実行委員会活動回数 20回	実行委員会が自らの手による企画運営を行うことにより、社会人としての自覚を新たにし、自分の行動・言動に責任を認識できる機会となります。またこうした活動に参加することにより物事に対する自主的な取り組み姿勢が生まれ、社会参加に意欲をもつこととなります。	今後の方向性(総合評価)	継続
	H21 現計 H22 計画			今後の方向性(総合評価)	
	H21 現計 H22 計画			今後の方向性(総合評価)	
	H21 現計 H22 計画			今後の方向性(総合評価)	

施策事前評価 22年度の組立て

自己評価	後期計画に向けた施策展開のビジョン		H22年度の狙い
	今後の方向性 現状水準維持	地域活性化のためには、生涯学習事業の自然・社会・生活体験に地域の大人の指導支援は最重要なものと考えています。町は青少年期より携わる機会の場をコーディネートしていきます。当事務事業の高校生ジュニアリーダー・成人式など自分たちで企画運営しようとする実行委員会を支援し、将来の町づくりの地域リーダー的な存在となるよう進めていきます。	
総合評価	ジュニアリーダーや成人式実行委員会の活躍については評価する。ただし、「地域リーダーの育成」という観点からみると、施策の目標としている「地域への波及効果」までは得られていないと思われる。今後に関わる事業展開を期待する。よって、後期計画において、自己評価のとおり当該施策を推進していくのであれば、さらなる事業が必要と考えるが、その前に、他施策を含めた順位付けを行い、施策展開の舵切りを再精査することが先決である。		